

第 5 5 期 第 5 回常任幹事会 議案

日時：2025 年 9 月 18 日(木) 13：30～15：15 会場：東京労働会館 5 階会議室

出 欠 吉田、稲葉、井澤、塩野、小嶋、清水、山根、相川、秋元、阿久津、市橋、
大房、小形、岡本、木崎、北川、工藤、栗原、國米、佐久間、築館、中山、
細見、前沢、森松、吉金、吉野、森、大嶋

議 長 森

/29（出席、□リモート、欠席）

会長あいさつ

先日、東京保険協会がリーフレットを作成しました。内容は「資格確認書を手に入れよう」というもので、表面にはその案内が、裏面には資格確認書を得るための二つの方法が記されています。一つはマイナンバーカードを更新しない方法、もう一つはマイナ保険証の登録を解除する方法です。

実際、マイナ保険証を作ったものの、「これがないと医療機関を受診できないのではないか」という宣伝や、ポイント付与の制度に押されてやむなく作ったという方が多いのが現状です。しかし、そうした方々の中には「このままではいけない、何とかならないか」と考えている人も少なくありません。

そこで示されている二つの方法のうち、一つは積極的に申請して登録を解除する方法です。自治体や保険者に申請すれば解除が可能で、今年 6 月時点で約 15 万件の登録解除が行われており、数は増加しています。もう一つは、特に動かなくても、マイナンバーカードの期限が切れてから 3 か月経つと自動的に資格確認書が送られてくるという仕組みです。これにより、有効期限切れのカードや、記号番号の書かれたお知らせ等を提示すれば医療機関は対応できることになっていますので、受診ができなくなる心配はありません。

こうした仕組みを理解していただき、安心していただくことが重要です。私自身、会員の皆さんに 100 部ほど送っていただくようお願いしましたが、さらに必要な方がいれば保険協会に申し出れば対応できるとのことです。

政府の宣伝が大々的に行われているにもかかわらず、マイナ保険証の利用率はわずか 31.43%にとどまっています。これは国民の多くが「使いたくない」という意思を持っていることの現れだと考えます。私たちはこの流れを後押しし、広げていきたいと思えます。本日は短いご挨拶になりますが、この点をお伝えして終わらせていただきます。

I. 報告

1. 情勢

① 子どもの貧困が深刻化

長引く物価高やコメ不足のなか、NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」が7月下旬に調査をしました。全国で約3900人が回答、割が小中学生のいる家庭でした。ひとり親家庭の子ども達の全体のうち38%が「1日2食」、3%が「1日1食」で夏休みを過ごしていると回答し、2食以下の子どもが昨年より7%も増加していることがわかりました。夏休みは給食がないことで、光熱費も普段よりかかり、物価高が家計を直撃する中で「食費を切り詰めているがお米を買えない時があった」（全体の66%、昨年は41%）など深刻な状況が浮き彫りになっています。政府による物価高騰対策の遅れや、社会保障費削減が大きく影響しています。

熱中症問題…公共の図書館をはじめとする施設の民営化や児童館の業態変更などで、無料で利用できる施設がなくなってきている中で、熱中症で搬送される子どもが増えた問題。高齢者についても「いこいの家」などの統廃合などで、猛暑の避難場所問題は深刻です。

② 介護保険黒字決算

厚生労働省は8月28日、2023年度の介護保険事業状況報告を公表しました。年金から天引きされる保険料の収納率は99.4%で、収納額は2兆4320億円。歳入と歳出の差額は3285億円の黒字になっています。これにより、介護給付準備基金は1兆758億円に達していることがわかりました。

③ 石破首相の辞任表明会見「政治とカネの問題をはじめ、国民の政治に対する不信を払しょくすることはいまだにできていない。自民党ははじめをつけないといけない。自民党は信頼を失うことになれば、日本の政治が安易なポプリズムになってしまうと危惧を強めている。古い自民党のまま、何も変わっていないとみられるようになっては党の明日はない。真の意味で解党的な出直しが必要だ。」

参院選後50日間、何の経済対策も打たず、政治の空白期間などには関心なく、さらに1か月近くもマスコミジャック続くことに。裏金問題に無反省。止まらない大軍拡。こうした自民党の動きをよそに、参政党が着々と

地盤固め。次期衆院選にむけすでに 39 人の公認候補を発表。

…以下は、議案の中で深めます

2. 活動報告

08 月 28 日(木)15:30～	人権としての医療・介護東京実行委員会
08 月 29 日(金)13:30～	マイナンバー制度反対連絡会総会
08 月 30 日(土)13:30～	生存権裁判を支える東京連絡会総会
09 月 01 日(月)18:30～	新介護署名 WEB 決起集会 (別紙)
09 月 03 日(水)10:30～	中央社保協介護・障害者部会
09 月 03 日(水)13:30～	中央社保協運営委員会
09 月 04 日(木)18:00～	いのちのとりで裁判運営委員会
09 月 07 日(日)09:30～	全国福祉保育労働組合東京地方本部定期大会
09 月 08 日(月)10:00～	中央社保協国保部会
09 月 09 日(火)12:30～	憲法共同東京センター大塚駅宣伝
09 月 10 日(水)16:30～	自治研集会運営委員会
09 月 12 日(金)10:00～	生存権裁判を支える東京連絡会役員会
09 月 17 日(水)18:30～	介護をよくする東京の会事務局会議

3. 当面の日程

09 月 18 日(木)13:30～	東京社保協常任幹事会
09 月 18 日(木)15:30～	人権としての医療介護実行委員会
※25 日にいのちまもる集会があるため 1 週早くなります	
09 月 18 日(木)18:30～	介護をよくする東京の会
09 月 19 日(金)13:30～	いのちのとりで裁判全国アクション総会
09 月 20 日(土)～21 日(日)	中央社保学校
09 月 24 日(水)12:15～	都議会開会日行動 (別紙)
09 月 24 日(水)15:30～	消費税各界連事務局会議～大塚宣伝
09 月 25 日(木)11:00～	新宿駅南口宣伝
09 月 25 日(木)13:00～	いのちまもる集会
10 月 01 日(水)10:30～	中央社保協 介護障害者部会
10 月 01 日(水)13:30～	中央社保協 運営委員会
10 月 04 日(水)13:00～	いのちまもる新宿駅南口宣伝 (別紙)

※社保協からは、民医連と都立病院を守る会から発言
していただく予定です

10 月 10 日(金)10:00～	新生存権裁判 東京高裁入廷行動
10 月 11 日(土)13:30～	地域社保協学習交流集会
10 月 14 日(火)12:00～	4 の日宣伝 巣鴨駅
10 月 15 日(水)18:30～	介護をよくする東京の会事務局会議
10 月 23 日(木)13:30～	東京社保協常任幹事会
10 月 23 日(木)15:30～	人権としての医療介護実行委員会
10 月 24 日(金)09:00～	対都交渉

4. 中央社保協、加盟団体の取り組み

(1) 中央社保協

- 9 月 1 日(月) 新介護署名 WE B 決起集会 18 時～新介護署名について
→第一次集約分は臨時国会に提出することを目標にしています
日程案 11 月 20 日(木)衆議院第 2 議員会館 第 1 会議室
- 9 月 20 日(土)21 日(日) 中央社保学校 (佐賀)
- 11 月 10 日(月) 介護・認知症なんでも電話相談 10 時～17 時
(ラパスホール)

(2) 加盟団体・友誼団体の総会・学習会など

07 月 13 日(日)～14 日(月)	東京医労連第 91 回定期大会
07 月 24 日(木)18:30～	西多摩社保協総会
07 月 26 日(土)13:30～	板橋社保協総会
07 月 26 日(土)13:30～	清瀬社保協総会
08 月 29 日(金)13:30～	マイナンバー制度反対連絡会総会
08 月 30 日(土)13:30～	生存権裁判を支える東京連絡会総会
09 月 07 日(日)09:30～	全国福保労東京地方本部定期大会
09 月 18 日(木)19:00～	日野社保協総会
09 月 20 日(土)	小金井社保協学習会
10 月 05 日(日)	西東京社保協総会

5. 事務局・幹事団体

(1) 人権としての医療介護東京実行委員会

診療報酬改定の動向が確認され、12 月に基本方針、年内に改定率が決定される見通しであり、現行の人員配置偏重の評価軸を是正する必要性が強調された。都立・公社病院の現状としては、病床利用率が 66%と標準の 85

～90%に届かず、新卒看護師の離職率も 9.6%へ上昇するなど、厳しい経営と人材状況が報告された。患者行動の変化としては、紹介状加算による受診制限や入院食事負担の増加による早期退院希望、長期処方化による受診回数の減少などが指摘された。病床再編に関しては、広尾病院建替で非急性期病床を設ける動きがある一方、国や都の病床返還補助は配分の不透明さや交付遅延が課題となり、高齢者救急や慢性期の受け皿不足が懸念されている。

診療報酬だけでは限界があり、公費投入の恒常化・増額や窓口負担軽減策（高齢者 2 割化見直しや一部ゼロ化）、さらに消費税の取り扱い見直しの必要性が確認された。人材面では、離職率上昇や賃金格差への不満、専門職の流出、外科や小児外科の医師確保難が深刻化しており、賃金・手当の是正や勤務形態の柔軟化が課題とされた。医療 DX では、マイナ保険証のスマホ搭載に伴う制度不透明さや、導入補助のみで維持費の恒常的措置がなく自治体負担が増大する問題が共有された。

次回までには、窓口負担軽減の財源試算、診療報酬要望メモの作成、都議懇談の資料準備、各病院の人員や設備老朽化の実態収集が課題として設定された。

(2) 介護をよくする東京の会

8 月開催なし、9 月 18 日に開催

(3) 生存権裁判を支える東京連絡会

8 月 30 日(土)13 時 30 分からけんせつプラザ東京で総会が行われ 39 人が参加しました。

いのちのとりで裁判全国アクションでは 9 月 19 日(金)13 時半からオンラインで総会が開催されます。

あわせて、10 月 28 日(火)13 時半からニッショーホール（虎ノ門）にて、「早期全面解決に向けた大決起集会」が予定されています（別紙参照）

署名もあわせてご協力をお願いします。

(4) 消費税廃止東京各界連絡会

(5) 東京高齢期運動連絡会（再掲）

高齢者大会成功に向け（チラシ参照）チケットは各地域年金者組合にあるそうです。平日ですが魅力的な内容となっていますので、日程調整できる方はふ

るってご参加ください。

東京社保協でもチケットを預かっています。それぞれ皆さんの会議で相談して必要枚数を教えていただければ振込用紙とあわせて送ります。

(本日、必要枚数のお渡しも可能です)

チケットは金券ではありません。参加した分だけ振り込めばいいという形態です。

(6) 都民生活要求大行動実行委員会 (再掲)

東京地評と東京社保協が事務局、AM の社会保障分野を東京社保協が担当

- 各団体の要望書の東京都からの文書回答が 9 月 30 日に到着
さらに交渉で深めたい内容について選定し 10 月 1 日午前中までに社保協に返信してください。タイトな日程ですが期日厳守をお願いします！
- 各団体の当日要請項目の提出：10 月 2 日 (木) (厳守)。
- 第 2 回実行委員会：10 月 3 日 (金) 13:30 より
- 対都要請行動：10 月 24 日 (金) 終日 2 庁ホール

(7) 取り組みの報告などをお願いします

●福祉保育労・國米さんから (資料参照)

8 日に都民ファーストの会と共産党都議団との予算ヒアリングをおこないました

そのなかで、両党から 9 月 5 日に東京都が福祉施設への物価高騰対策支援を、10 月～12 月までの 3 か月に限定して延長することが決まったとお話をいただきました。

これは補正予算ではなく、今までの施策の延長という扱いになるそうです。

これまで東京都は「国の物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金」を使っていて、東京都の財政そのものを使っているわけではありません。

国はまだこの制度の活用を決めていませんが、この制度の延長を見込んで現場に早くお金を支給すべく決定したものだと思われます。

すでに財務局の HP で資料がアップされていますが、福祉局関連＝福祉施設にかかわるものの費用はだいたい 17 億から 18 億らしいです

●各地域・団体から

(8) 共闘関係

① 日本母親大会実行委員会

日本母親大会 9月28日(日)から29日(月)

特に29日の全大会の成功のために多くの皆さんの参加が呼びかけられています。ご協力をお願いします。

② 第15回東京地方自治研集会実行委員会(再掲)

12月21日(日)に開催される上記集会で、社保協・都生連・高齢期運動連絡会が第1分科会「貧困と格差」を担当することになり準備を進めています

東京社保協では、北区社保協になんでも相談会の取り組みと相談内容の分析などについて発言していただきます。これからの運動に生かすための学習の機会としてお誘いあわせでご参加ください。全体の詳細がわかり次第お知らせします。

③ マイナンバー制度反対連絡会

1, 9月25日(木)午前中、省庁要請行動 午後からの集会で報告

2, 12月2日、保険証廃止となって1年の節目として準備中です

14時から院内集会～16時半から省庁抗議行動(厚労省またはデジ庁)

協議事項

1. 東京社保協の取り組み

(1) 新介護署名「介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める請願署名」を成功させよう(再掲)

① 9月1日(月)18時～新介護署名決起集会

東京社保協ホームページから YouTube (ホームページの動画をクリック) で配信しています。会議などでみんなで視聴し、意思統一に活用してください。

学習資料として、当日のレジュメ、介護パンフなど必要部数を教えてください。地域社保協には無料で発送します。レジュメはデーターで送ること

もできます。

② 11 月 20 日第 1 弾国会提出行動

会場 衆議院第 2 議員会館 第 1 会議室 12 時開会

① 介護署名提出行動 ②厚生労働省要請

～お昼を挟んで国会議員要請行動

③ 一言カードにも取り組もう（別紙）

- ・会議に参加した人を書いてもらいましょう
- ・署名と一言カードをセットで地域の介護事業所に送付など行い、対話・協力など呼びかけましょう
- ・まずは、今日の会議にご参加の皆さんはご記入ください

④ 発送で署名用紙とあわせて、署名用紙の注文用にも同封しています。積極的に申し込んでください。

（本日申し込みも受け付けます）

⑤ 9 月 25 日(木)13 時～いのちまもる総行動 日比谷野外音楽堂
（日比谷野音最後の集会です！）

→新医療・介護署名はこの集会がキックオフとなります(チラシ別紙)

⑥ 各地域で運動を広げましょう

東京地評から 10 月 4 日～20 日のゾーンで全都いっせい署名宣伝行動が提起されています。地域労連と共同した取り組みとしましょう（各地域の予定表別紙）

⑦ ケア労働者の処遇改善・制度改革アクション 2025 都段階宣伝

10 月 4 日(土)13 時～14 時 新宿駅南口

同時での宣伝がない地域の方も旗をもってご参加ください

主催 東京地評・東京社保協

テーマ 医療・介護・福祉職員の抜本的な処遇改善、報酬制度の抜本改定、地域医療構想の撤回、社会保障の充実など

（2） 地域社保協交流集会について

日時 10 月 11 日(土)ラパスホール 1 3 時 3 0 分から

介護・国保・補聴器問題を中心に学習し、2025 年後半戦の運動の位置統一を進めます。地域から高すぎる国保料引き下げを求める運動を進めながら、1 月に実施したような区長会などとの懇談につなげます。

また、各地域社保協の活動交流をすすめます。

集会成功に向けたお願い

具体的な活動の交流のために各地域での取り組みがわかる資料を社保協までメールや郵送で送ってください

- 自治体への要望書、懇談をしたところは報告
- なんでも相談会のチラシ・当日の内容
- 学習会チラシ・呼びかけの工夫・当日の内容
- 地域宣伝・申し入れ行動など内容 などなど

(3) 2025 年東京社保学校について(再掲)

日程 11/22(土)13 時 30 分～16 時 30 分 (開場 13 時)

会場 けんせつプラザ東京 5 階

講師など 後藤道夫氏など (隔月刊「社会保障 509 号」)

テーマ：社会的危機の歴史背景を考え直す 最低生活の保障とは

後藤先生より

賃金の長期大幅下落と GDP の異例の長期停滞をそのままにしておくと、社会保障費の対 GDP 比が上がるばかりで、中身はどんどん衰退しながら、目先の現金給付あるいは節税などに人々の視点が狭隘化し、世代論、外国人ヘイトがはびこります。賃金引き上げは基本中の基本です。また、深刻な現役世代の人口減は医療、福祉の働き手不足をさらに深刻化することは間違いありません。短期的にこれをきれいに解決するのはむずかしいですが、なぜ、そうなったのか、は考えられるかと。このあたりを少し膨らませてお話しすることになるかな

○社保学校の後半は最賃運動や生存権の問題での報告をしてもらってはどうか。

(4) 10 月～の運動提起

国保・介護・補聴器問題で各地域で自治体要請・懇談、12 月議会陳情をしましょう。ひな形を作成しました。各地域で、社保協加盟する団体と相談して

まずは自治体に要請書を提出し、懇談しましょう。また、12月議会に向け陳情も準備し、各会派との懇談を申し入れましょう。

8月の常任幹事会でも話題になった、国保料（税）の滞納問題についての申し入れも進めましょう。

すでに、懇談している社保協は、要請内容と懇談結果を東京社保協までお寄せください。

(5) 「国民健康保険」に関するアンケートについて

今年度も、各自治体に「国民健康保険」に関するアンケートを依頼します
昨年のものでお渡ししますので、来月の幹事会までに修正を入れてください
11月に発送します

(6) 地域社保協再建運動について

豊島は、事務局長が体調不良のため体制も含めて相談中

品川は、調整中

国分寺は、相談の日程調整中

全国でも、国保の値上げや滞納問題などの切実な要求から、自治体交渉などをきっかけに地域社保協再建の動きが活発になっています。各地域でも、自治体への要請を検討しながら組織強化の足掛かりとしていきましょう。

2. 「4の日」宣伝（Since2017年2月～）など

(1) 東京社保協・中央社保協の共同での「4の日宣伝」

7月14日(月) 台風が来ていましたが短時間・音なし宣伝を行いました

(2) 今後のスケジュール

09月25日(木) 11時から新宿駅南口 医療関連協の宣伝行動に合流する
かたちで実施します

10月14日(火) 通常開催

11月14日(金) 通常開催

12月14日(日) 25日(木)に常幹前に大塚駅宣伝をおこなう

3. 決裁事項

「いのちのとりで裁判」の団体署名について確認した

「安全・安心の医療・介護」の団体署名については、診療報酬を10パーセントあ

げるという表現が、患者負担に変えることを考えると合意が得られなかった。

高齢者大会しおりへの協賛広告掲載のお願い 1口5千円

介護パンフについて 1000部購入を確認した 1000×50円=5万円

4. その他

- (1) 当面の常任幹事会開催日程について（定例：第4木曜日 13：30～）

10月23日(木) 13：30～

11月27日(木) 13：30～

12月25日(木) 14：30～ 常任幹事会前に大塚駅で宣伝行動・忘年会